

一支部交流会「記念艦三笠と猿島訪問」

3月30日（火） （一社）日本観光通訳協会(JGA)第一支部交流会 終了レポート

JGA 第一支部運営委員会

横須賀にある記念艦三笠と猿島を訪れる、第一支部交流会を企画しました。記念艦三笠保存会の終身会員に年に一回配布される招待券10枚を利用し、かつ密を避ける目的で、定員は10名、それに企画した委員1名の合計11名が参加しました。

日露戦争の日本海海戦で日本の連合艦隊の旗艦であった記念艦三笠は、今は横須賀三笠公園で展示されています。普通は一般見学者は案内されないという海上自衛隊ご出身の古宇田和夫氏が今回は特別にご案内くださいました。海外からの方向けの英語版ビデオ視聴後、日本側として最低限これ位は知っておく



べきこと：特に一般に知られている解釈と事実との違いなどを熱心にご説明くださり、参加者は思わず研修モードで、メモを取りながら聞き入りました。御年80とおっしゃる古宇田氏は驚くほどお元気で、急なタラップを駆け降りる足取りの何と軽いこ

と！後を追いながら、コロナ禍で体がなまったことを実感しました。結局2時間近くご案内いただき、充実した三笠訪問でした。

ランチは自由食、希望者9名は近くのゴルカパレスにて海軍カレーをいただきました。



午後にはフェリーで猿島に渡りました。猿島は東京湾唯一の無人島、また、かつては東京湾＝日本を守るべく砲台が置かれていた要塞の島です。一般人の立ち入りが禁止されていた為に貴重な自然や歴史遺産が残され、2015年に国史跡に指定されました。猿



島ではガイドのクーパーさんにプライベートでご案内をお願いし、島に残る旧陸軍・海軍の兵舎や弾薬庫などを詳しくご説明いただきました。島にはスパイダーマンに扮してゴミを拾う方にお会いしてビックリ。カメラを向けるとポーズをとってくださいました。



フェリーで三笠公園に戻った後、希望者は汐入の商業施設コースカベイサイドストアーズまで歩き、米軍基地の戦艦を見に行きました。



好天に恵まれ桜満開、「本日天気晴朗ニシテ波静カ」。久し振りに仲間と過ごした楽しいひとときでした。